

子供の貧困に関する指標（沖縄県の状況）

- 沖縄県の子供の相対的貧困率は29.9%で、全国平均の約2.2倍にのぼる。
- 1人当たり県民所得は全国最下位で、母子世帯の割合は全国で最も高い。
- 低所得者世帯を対象とする施策を見ると、生活保護率は全国3位、就学援助率は全国2位にとどまる。

	指標	沖縄	全国	順位
①	子供の相対的貧困率(%)	29.9 (H26)	13.5 (H30)	—
②	1人当たり県民所得(千円) _(H27)	2,166	3,190	低い方から1位
③	非正規の職員・従業員率(%) _(H29)	43.1	38.2	高い方から1位
④	母子世帯出現率(%) _(H27)	2.6	1.4	高い方から1位
⑤	生活保護率(‰) _{※(R2.3)}	26.3	16.4	高い方から3位
⑥	就学援助率(%) _(H30)	24.8	14.9	高い方から2位
⑦	高校中退率(%) _(H30)	2.2	1.4	高い方から1位

（※）‰（パーミル）とは、1000分の1を1とする単位のこと。

<母子世帯の収入状況>

（全国：平成27年11月現在、沖縄県：平成30年11月現在）

	沖縄	全国
自身の年間就労収入	187万円	200万円
世帯の年間総収入	278万円	348万円

<進学率>

（令和元年5月現在）

	沖縄	全国	順位
高校進学率	97.3%	98.8%	低い方から1位
大学・短大進学率	40.2%	54.7%	低い方から1位
専修学校進学率	24.1%	16.4%	高い方から2位

（出典：各省の公表資料を基に内閣府で作成（一部沖縄県より提供））